



仏壮スローガン 仏社会 今が行くとき 友をさそい 浄宗寺。浄宗寺は車いすの方も 盲導犬をお連れの方も お参りができます。肉眼で人の非を見 仏眼で己の非を見る。

園児の皆さん、立派な幕を作ってくれて有り難うね。

保護者の皆さんいかがお過ごしですか? 自粛にご協力していただき有り難うございます。

親鸞さまは「色々な災難があるが 苦しむ人々を必ず救うと誓われた 仏さまのお心をおもって なもあみだ ぶつを称えよう」とおっしゃいました。

保育園の「コロナにまけるな」の幕

仏教壮年会連盟 綱領
われわれ仏教壮年は、
自らの生き方を親鸞聖人のみ教えに聞き、
ともにお念仏申す朋友の輪を拓け、
心豊かに生きる社会の実現をめざします。

以上の法座を中止します。
○盆踊り(8/8予定) については寺報7月号でお知らせします。
○ご講師の先生がたにもご迷惑をおかけします。
○日曜礼拝(毎週日曜朝8時半)や法事などの受付はしています。
○また一緒に聴聞できるのを楽しみにしています。

令和2年 6月
浄宗寺だより
じょうしゅうじ

発行所 岡尾山 浄宗寺
〒731-3271 広島市安佐南区沼田町阿戸3143
Tel (082) 839-2075・Fax 839-3085

日曜礼拝につき下記の月参りを変更することがあります。日曜礼拝は毎週日曜朝8時半～。どなたでもどうぞ。

6/ 7、14、21、28
7/ 5、12、19、26

中止します
6月 仏壮法座
7月 仏婦法座
8月 盆・初盆法座

新型コロナウイルス感染症に関する「念仏者」としての声明

本願寺の石上智康総長から、新型コロナウイルス感染症に関する「念仏者」としての声明が出されました。裏面をどうぞ。



本堂の消毒液



自粛中、お家でキャンプをするスカウト

■本願寺ホームページ
<http://www.hongwanji.or.jp/>
■広島別院 安芸教区ホームページ
<https://www.aki.or.jp/>

住職と坊守

5月17日の日曜礼拝では降誕会もお勤めました。聖人が生きられた平安～鎌倉期は戦や災害、疫病も頻発しました。この頃浄土教も盛んになり、人々が助けうために各地に自治組織ができました。また蓮如上人の室町時代にも疫病が流行りましたが、念仏者は加持祈祷で治すのではなく薬を作りました。これが富山の薬売りです。坊 先人はみ教えから色々な知恵を出して、苦難を乗り越えてこられたのですね。さて今年は竹の子聴聞を中止しましたが、沢山の竹の子をいただき有り難うございました。今は田植えが盛んです。お念仏に中止はありません。益々盛んに南無阿彌陀仏を称えましょう。謝々。



焼中博様が手作りされた 喚鐘(かんしょう)の撞木(しゅもく)

御報謝御礼



本堂の屋根を直してもらいました。(有)西川瓦店 飯室3047 ☎835-0615



咲谷家 釋永覚(敏子)様納骨 3/15



裏山の草刈りをしてもらいました 5/17

月	日	曜	時間	行事	講師
6	14	日	昼1時	仏教壮年会(法要)	広島市学園大学学長、呼吸器専門内科医 河野修興師
7	4	土	昼1時、夜8時	法要	加計正覚寺 清胤弘英師
7	7	金	昼1時、夜8時	住職	
8	8	土	夜6時 夜7時10分	成人式 盆踊り (雨天の場合翌9日に変更)	己斐善法寺 前田純代師

中止します

6月4日は虫歯予防の日。こころ衣笠歯科医院 ☎849・1200。お墓のない方墓じまいの方 お遺骨をお預かりします 住職携帯090・1010・4877

新型コロナウイルス感染症に関する「念仏者」としての声明

現在、新型コロナウイルス感染症は世界中に拡がり、収束する気配を見せていません。日本でも緊急事態宣言が発令されるなど、状況は新たな段階に入っています。

まず、このたびの新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた国内外の多くの方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患されている皆さまに心よりお見舞い申しあげます。さらに、特に高い感染リスクにさらされながらも、懸命に治療・対策にあたられている医師、看護師をはじめとする医療従事者の方々に深く敬意と感謝を表します。

こうした危機的な状況において、世界中の人びとが共に力を合わせ、励まし合って対応しています。しかし、症状が出ないために感染に気づいていない人の行動が、感染拡大の一因となっている場合もあるのではないかと指摘されています。感染症の危険性や対処法を正しく理解し、実行するとともに、差別や偏見が拡がらないよう、一人ひとりがお互いを思いやり、注意深く行動していきたいと願っております。

釈尊(しゃくそん)が明らかにされた苦しみの根源である無明煩惱(むみょうぼんのう)、また親鸞聖人(しんらんしょうにん)が「煩惱具足(ぼんのうぐそく)の凡夫(ぼんぶ)」という言葉でお示しになった私たち人間の根本に潜む自己中心性に思いをいたし、このような時にこそ、人と喜びや悲しみを分かち合う生き方が大切ではないでしょうか。仏教には、「あらゆるものは因縁(いんねん)によりつながり合って存在しており、固定した実体はない」という「縁起(えんぎ)」の思想があります。新型コロナウイルスの感染拡大の原因は人との接触であるとされ、本来大切な人との「つながり」が、今は安心感ではなく、不安をもたらすものとなってしまっています。しかし、「つながり」を表面的に捉え、危険なものとする否定的に考えてはなりません。世界的な感染大流行という危機に直面する今だからこそ、私たちは仏教が説く「つながり」の本来の意味とその大切さに気づいていく必要があります。

今重要なことは、仏智(ぶっち)に教え導かれ、仏さまの大きな慈悲(じひ)のはたらきの中、共に協力し合って生きる大切さをあらためて認識し、感染拡大をくい止めることです。緊急事態宣言がコロナ危機を克服してくれるものではありません。この困難を打開できるか否かは、多くの関係者のご尽力とともに、私たち一人ひとりの徹底した適切な行動にかかっています。

私という存在は、世界の人びととの「つながり」の中で生きているからこそ、やがて、共にこの苦難を乗り越えた時、世界中の人びとと喜びを分かち合えることでしょう。それぞれの立場において、この難局で法灯(ほうとう)や伝統を絶やさないために何ができるかを考え、「そのまま救いとる」とはたらいてくださるお念仏の心をいよいよいただき、共々に支え合い、力を合わせるのです。誰もが安心して生活できる社会を取りもどすことができるよう、精いっぱいにつとめを果たしてまいりましょう。

2020(令和2)年4月14日

浄土真宗本願寺派総長 石上 智康